



かみさか たつあき

带状疱疹ワクチン公費助成実現へ！

带状疱疹ワクチンについて公費助成を求める質問に対して、清水市長は「次年度からの带状疱疹ワクチン接種の公費助成について、前向きに検討していく」との考えを初めて示しました。同ワクチン接種については、費用が高額であることから公費助成を求める声が多く多くの市民より寄せられていました。

この声を受け私たちは、議会質問や予算要望を通じ、終始一貫して議論をリードしたことにより今回の答弁を引き出すことができたのです。



市民の暮らしを守る！

障害のあるお子さんや成人の方々にとって、紙おむつやストーマの使用は日常生活の一部であり、その費用負担は家計に大きな影響を及ぼします。この負担を軽減するために、さいたま市では紙おむつ代やストーマなどを含む60品目の助成制度があります。

しかし、物価高騰による紙おむつやストーマなども値上がりしており、負担軽減を求める要望が寄せられていました。

これまで、議会で粘り強く補助増額を求めてきましたが、この度、初めて補助増額が市長より示されました！引き続き、2月の予算委員会に向け取り組みを進めてまいります。



防犯グッズ等の購入助成制度の創設を！

「闇バイト」を使った侵入強盗事件が全国で相次いでいます。多くの市民が不安を抱え、日々の暮らしを余儀なくされています。住まいの安全を守るためには、防犯対策を講じることで不安を軽減することができます。

ただ、物価高騰が相次ぐなかで、防犯グッズを買うことを躊躇してしまう市民は少なくありません。

このことから、私は、先の本会議において防犯カメラ等を購入するための助成制度を提案し、市に対策を強く求めました。

答弁では、今後、政令指定都市などにおける取組事例等の調査を進め、犯罪防止につながる防犯カメラに対する取り組みについて検討してまいりたいとの答弁が示されました。

引き続き、安全で安心なまちづくりの実現を目指して取り組んでまいります。



新たな移動スタイルの導入を提案！

地元のための
ローカルモビリティ

全国のべ400地域
以上で実証実験

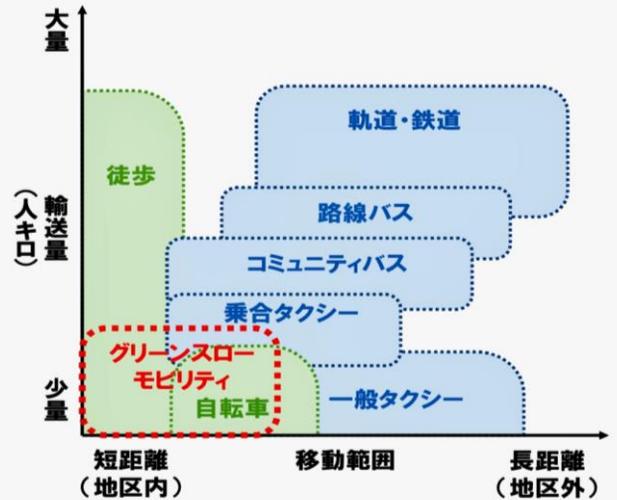


おしゃべりができる、乗って楽しい、グリーンスローモビリティ

グリーンスローモビリティは、時速20km以下で運行する小型電動車両を活用した移動手段です。特に短距離移動や地域内交通を目的としたものです。（画像：河内長野市のクルクル）

グリーンスローモビリティの特徴

- CO2や有害物質の排出を抑制
- デザインや運行形態を自由に選択
- 高齢者等のお出かけ支援に最適
- 地域コミュニティの強化
- 音が静かで安全性が高い
- 維持・運用コストが抑えられる
- 新たな地域の魅力を創出



▲グリーンスローモビリティのサービス領域

スタイルも様々なグリーン スロー モビリティ

軽自動車



4人乗り

小型自動車



7人乗り

普通自動車



10人乗り



4人乗り

特殊用途車両 (8ナンバー)



福祉車両タイプ



車椅子リフト可
10人乗り



車椅子リフト可
16人乗り

※16人乗り車両の運転にあたっては、中型自動車免許が必要になります。

暮らしの中での相談やお困りごと、市政に対するご意見やご要望がございましたら、お気軽にご相談ください。公式LINEでもお受けしています。

公式
LINEは
こちら

